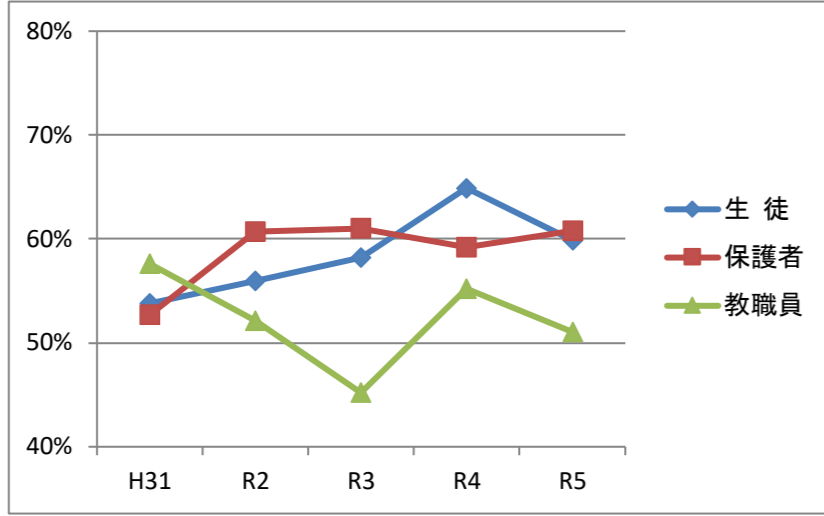


1. 令和5年度 学校教育自己診断 集計結果

対象	生徒					保護者					教職員				
	H31	R2	R3	R4	R5	H31	R2	R3	R4	R5	H31	R2	R3	R4	R5
回答数	402	447	354	325	308	284	208	219	131	181	49	57	45	55	47
総数	531	575	575	535	519	531	575	575	535	519	61	59	58	60	58
回答率(%)	75.7%	77.7%	61.6%	60.7%	59.3%	53.5%	36.2%	38.1%	24.5%	34.9%	80.3%	96.6%	77.6%	91.7%	81.0%

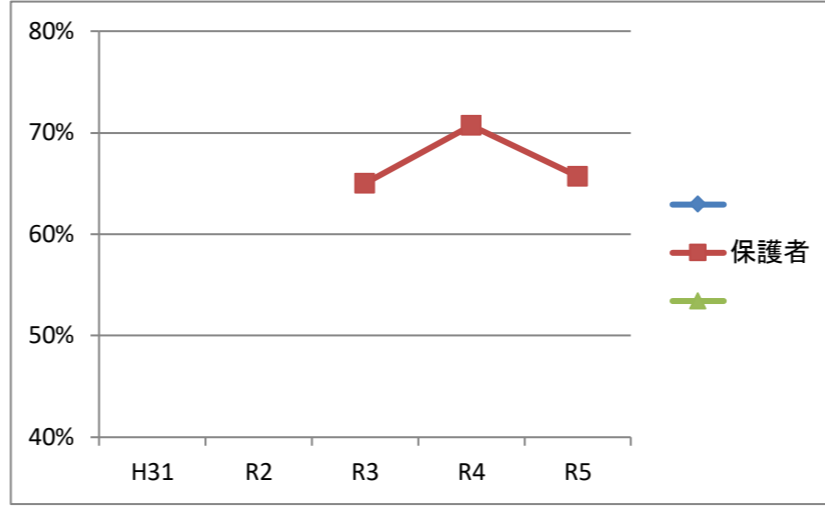
項目1
全体
1. 生徒 学校に行くのが楽しい。
1. 保護者 子どもは学校に行くのが楽しみにしている。
1. 教職員 生徒は学校生活に満足している。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	53.8%	56.0%	58.2%	64.9%	59.8%
保護者	52.7%	60.7%	61.0%	59.2%	60.8%
教職員	57.6%	52.1%	45.2%	55.2%	51.1%



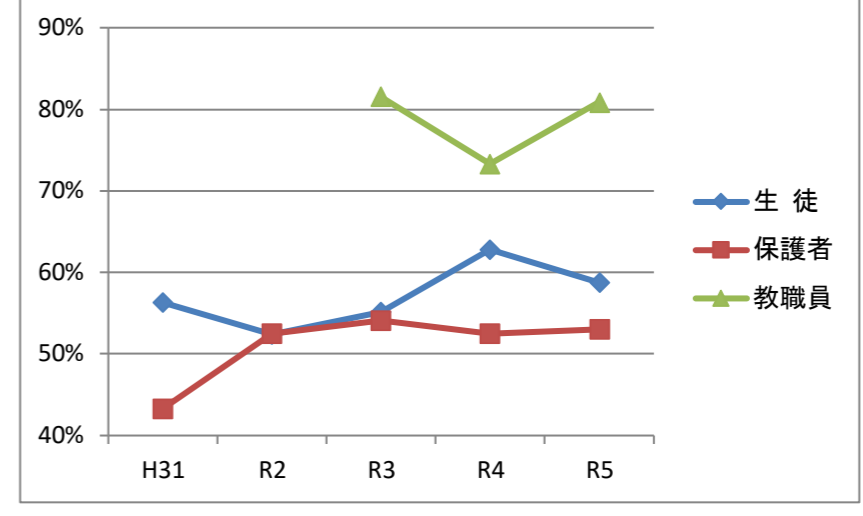
項目2
全体
2. 保護者 先生は、子どもを理解している。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
保護者			65.0%	70.7%	65.7%



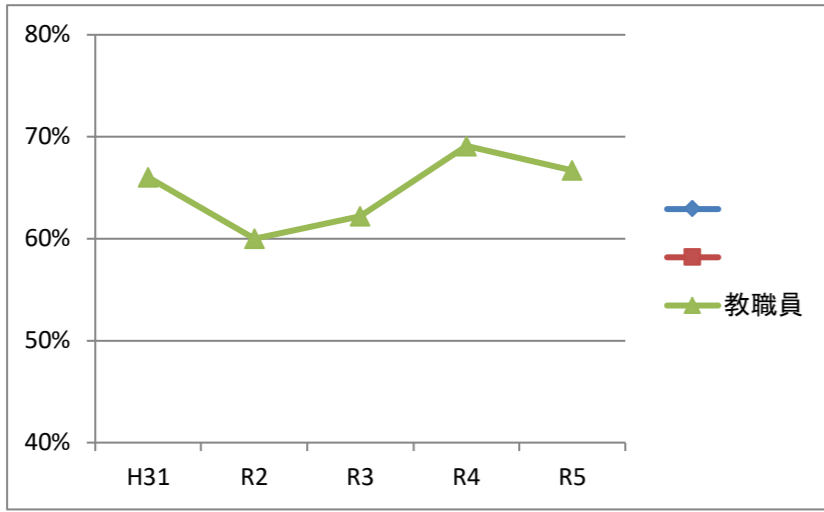
項目3
教務部
2. 生徒 授業はわかりやすく楽しい。
3. 保護者 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。
2. 教職員 生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について、工夫している。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	56.3%	52.4%	55.1%	62.8%	58.8%
保護者	43.3%	52.5%	54.1%	52.5%	53.0%
教職員			81.5%	73.3%	80.9%



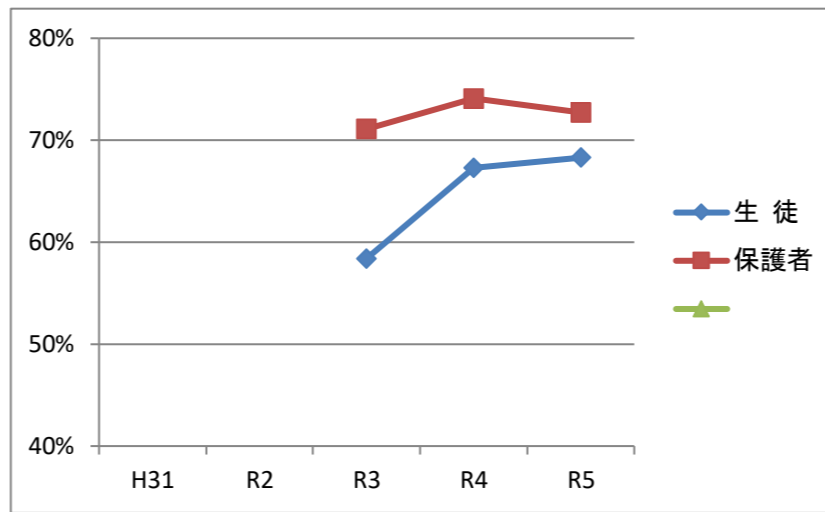
項目4
教務部
3. 教職員 教員の間で、授業方法などについて検討する機会を積極的にもっている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
教職員	66.0%	60.0%	62.2%	69.1%	66.7%



項目5
教務部
3. 生徒 生徒が努力したことをほめてくれる。
4. 保護者 先生は子どもの頑張りを理解してくれる。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒			58.4%	67.3%	68.3%
保護者			71.1%	74.1%	72.7%



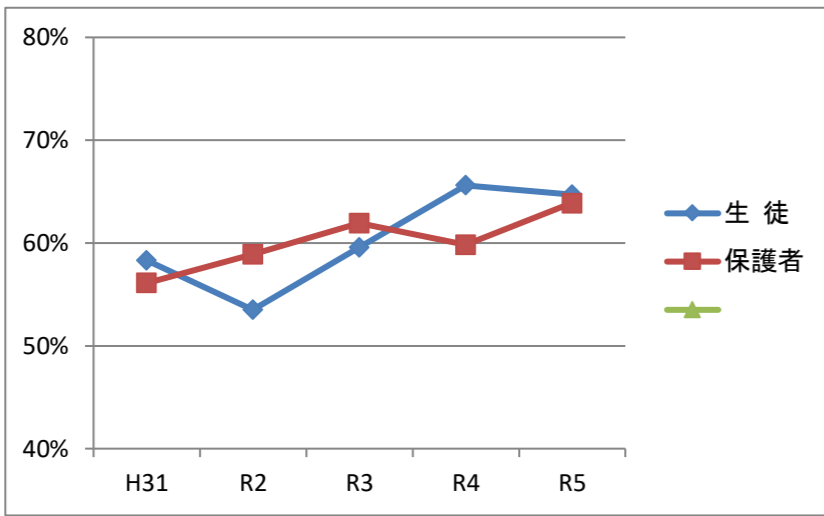
項目6
教務部
4. 教職員 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の評価に生かしている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
教職員	59.7%	57.9%	50.0%	63.6%	59.6%



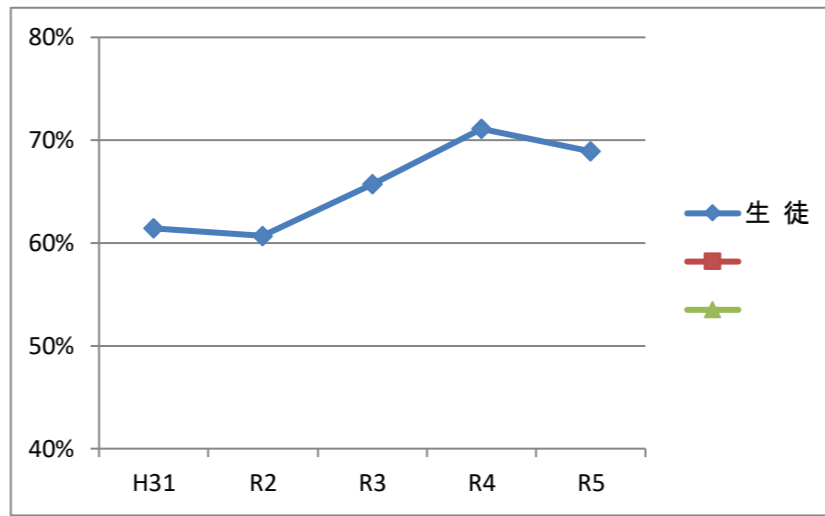
項目7
教務部
4. 生徒 セットや選択科目は、自分の学びたいことが準備されている。
5. 保護者 選択授業は、子どもの興味や関心、進路希望にあっている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	58.3%	53.5%	59.6%	65.6%	64.7%
保護者	56.1%	58.9%	61.9%	59.8%	63.9%



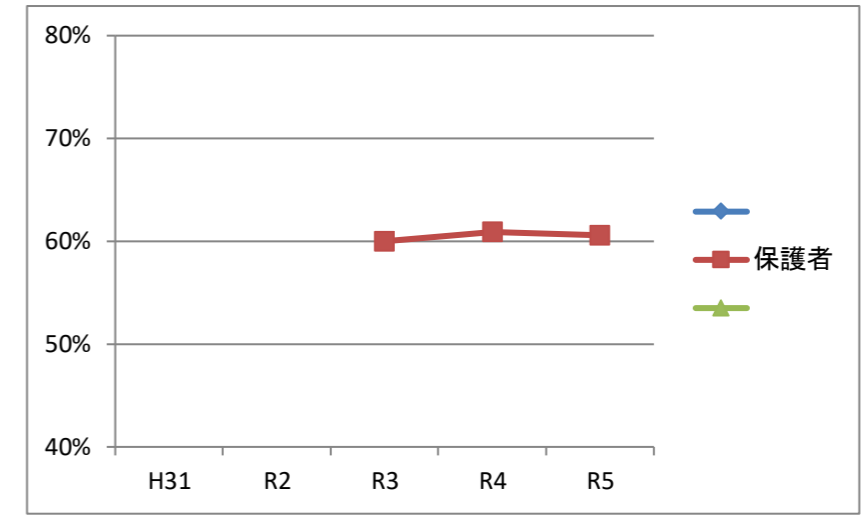
項目8
進路指導部
5. 生徒 将来の進路や生活について、考えることがある。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	61.4%	60.7%	65.7%	71.1%	68.9%



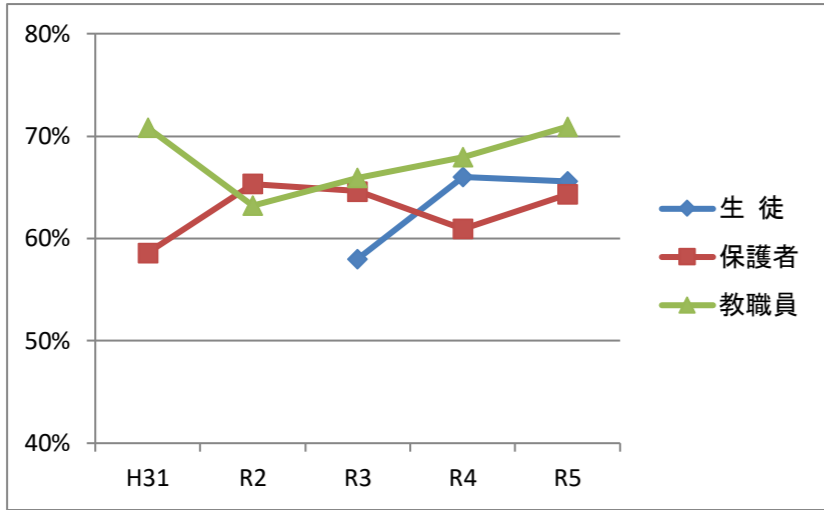
項目9
進路指導部
6. 保護者 学校は、進路に関して、家庭への連絡や情報提供を行っている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
保護者			60.0%	60.9%	60.6%



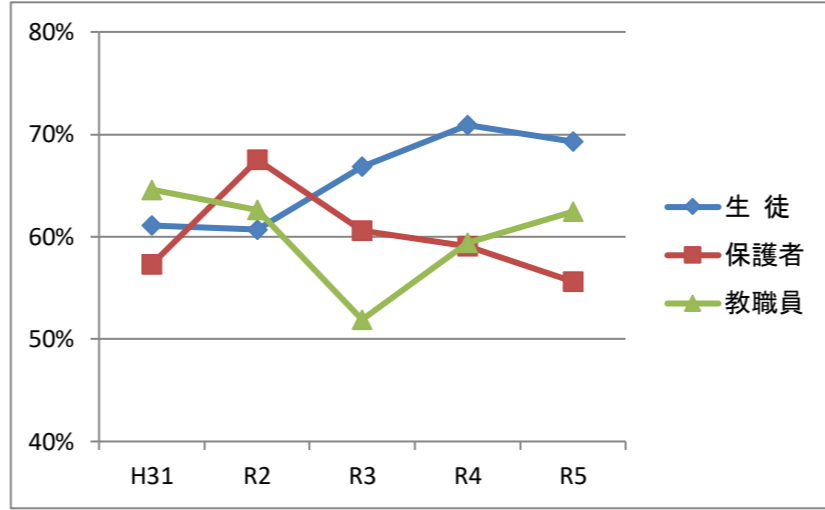
項目10
進路指導部
6. 生徒 先生の進路指導はわかりやすい。学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている。
7. 保護者 生徒一人ひとりが、興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。
5. 教職員 進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	58.6%	65.3%	58.0%	66.0%	65.6%
保護者	70.8%	63.2%	65.9%	67.9%	70.9%



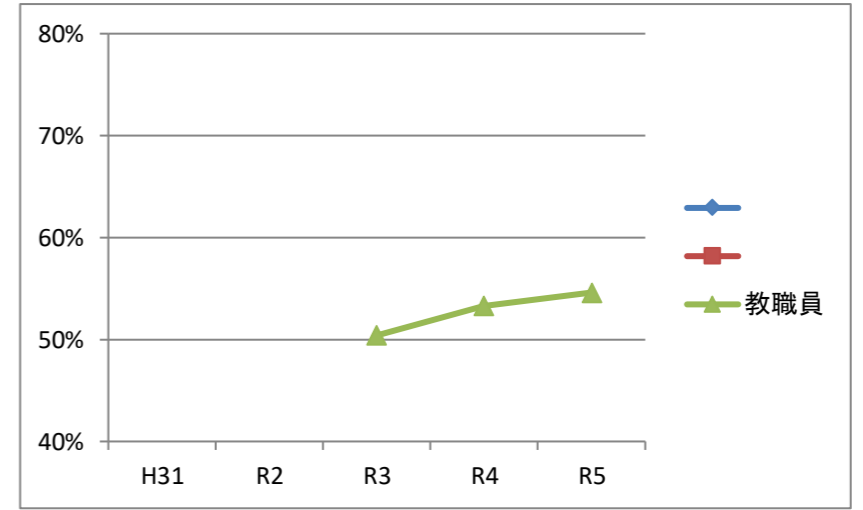
項目11
生徒指導部
7. 生徒 命の大切さや社会のルールについて、学んでいる。
8. 保護者 学校で命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会があると感じている。
6. 教職員 命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会を作っている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	61.1%	60.7%	66.8%	70.9%	69.3%
保護者	57.3%	67.5%	60.6%	59.1%	55.6%
教職員	64.6%	62.6%	51.9%	59.4%	62.4%



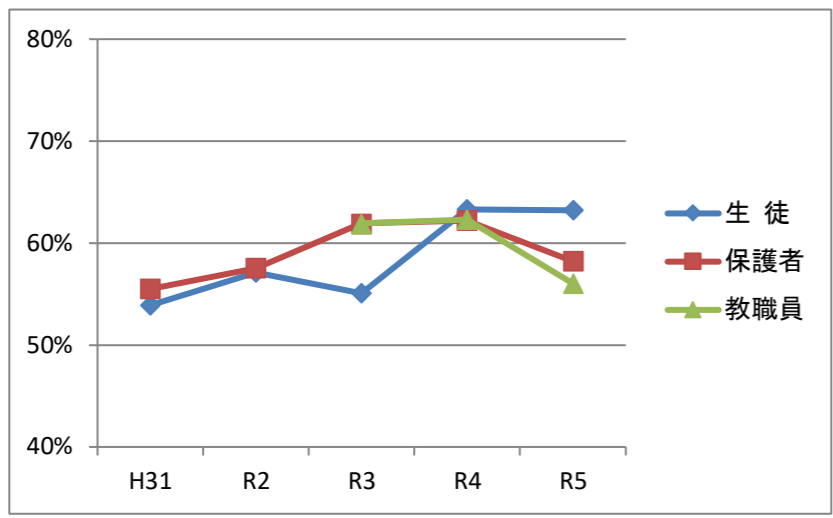
項目12
生徒指導部
7. 教職員 校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員間で話し合う機会がある。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
教職員			50.4%	53.3%	54.6%



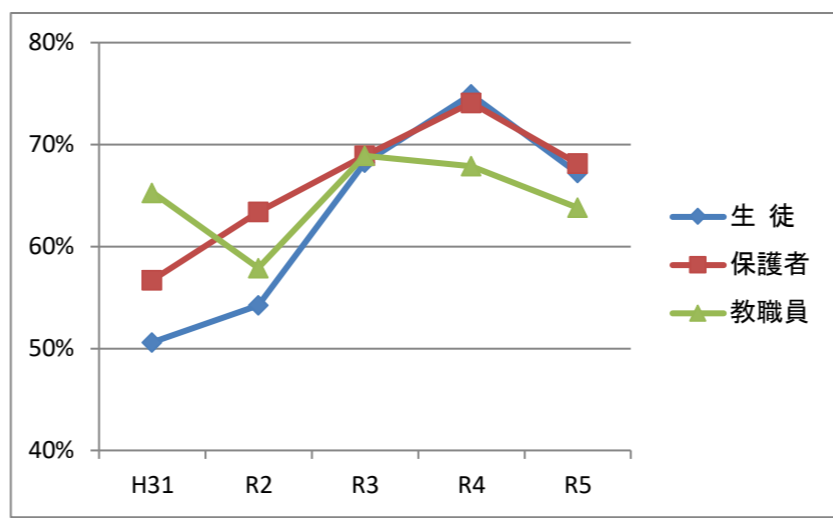
項目13
生徒相学
8. 生徒 学校生活について、先生の指導は納得できる。
9. 保護者 学校の生徒指導の方針に共感できる。
8. 教職員 この学校では、生徒・保護者に対し、納得感のある生徒指導を行っている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	53.9%	57.1%	55.1%	63.3%	63.2%
保護者	55.5%	57.5%	61.9%	62.2%	58.2%
教職員			61.9%	62.3%	56.0%



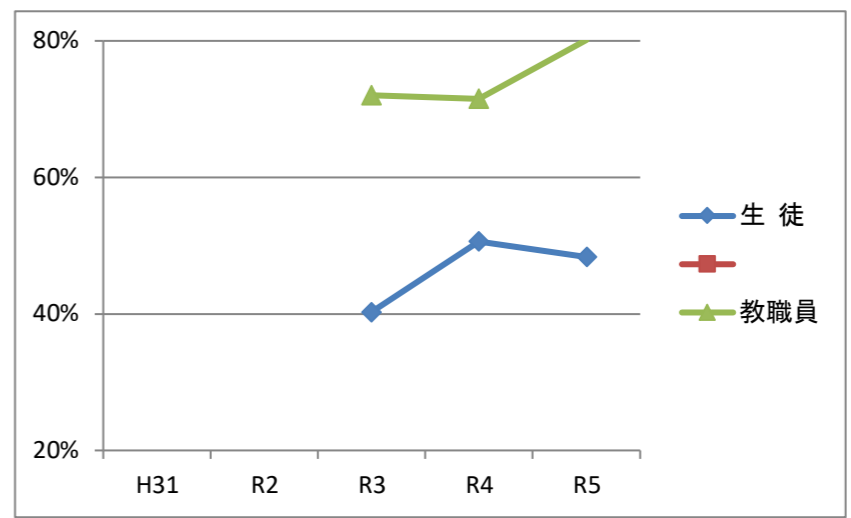
項目14
生徒会
9. 生徒 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は楽しい。
10. 保護者 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は楽しそうに参加している。
9. 教職員 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は生徒にとって魅力のあるものになっている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	50.6%	54.2%	68.2%	74.9%	67.2%
保護者	56.7%	63.4%	68.9%	74.1%	68.1%
教職員	65.3%	57.9%	68.9%	67.9%	63.8%



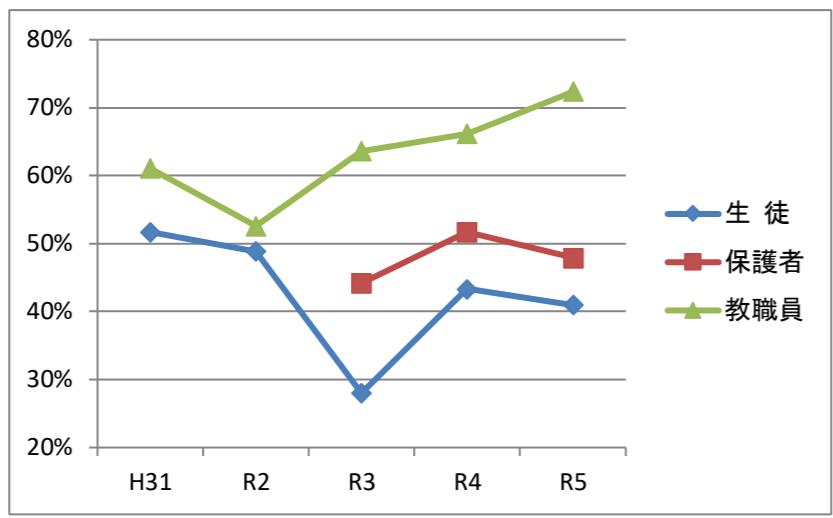
項目15
生徒会
10. 生徒 クラブ・校内イベント(国際交流、学校説明会など)や生徒会に参加したことがある。
10. 教職員 生徒との対話的な活動に力を入れている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒			40.3%	50.6%	48.4%
保護者					
教職員			72.0%	71.5%	80.1%



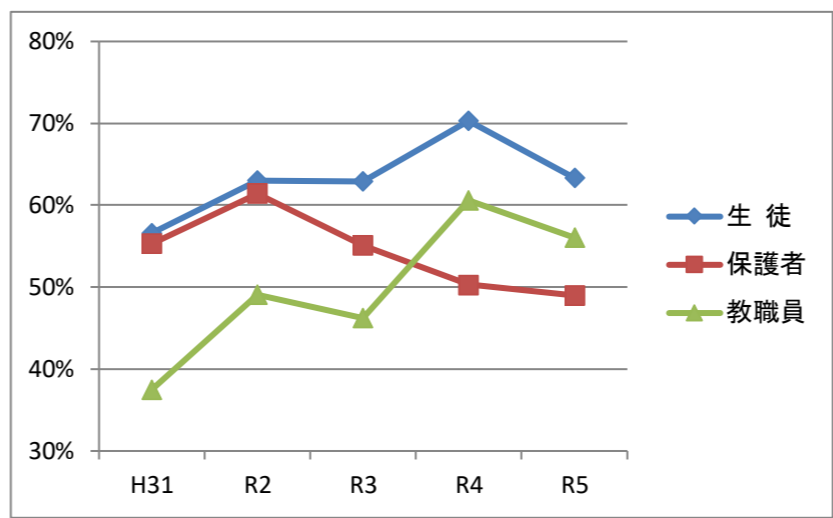
項目16
生徒会
11. 生徒 学校でボランティア活動や体験活動などを通して、校外の人と一緒にいることがある。
11. 保護者 学校でボランティア活動や体験活動などを通して、子どもが校外の人とかわる機会がある。
11. 教職員 学校はボランティア活動や体験活動など、地域とかわる機会を作っている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	51.7%	48.8%	28.0%	43.3%	40.9%
保護者			44.2%	51.7%	47.9%
教職員	61.1%	52.6%	63.6%	66.1%	72.3%



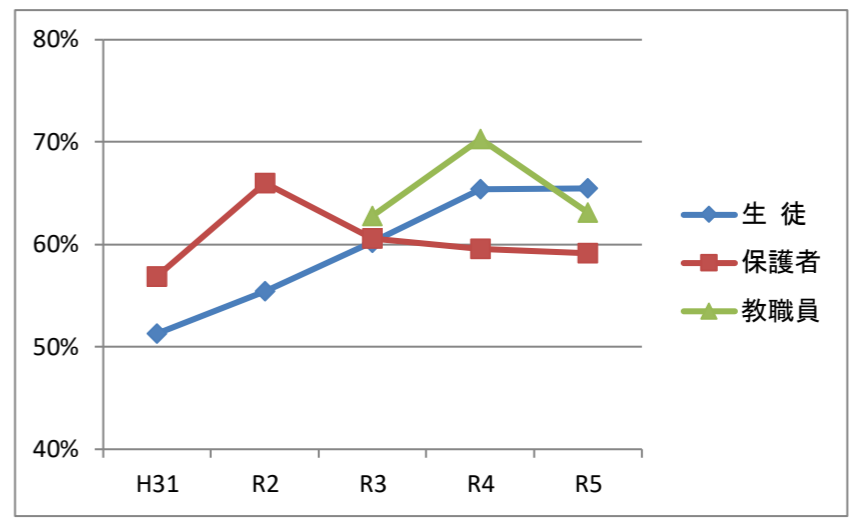
項目17
総務部
12. 生徒 学校での災害時に、どうすればよいかを知っている。
12. 保護者 学校での災害時に、どうすればよいかを子どもは知っている。
12. 教職員 学校での災害時の行動を、生徒に周知している。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	56.6%	63.0%	62.9%	70.3%	63.3%
保護者	55.3%	61.4%	55.1%	50.3%	49.0%
教職員	37.5%	49.1%	46.2%	60.6%	56.0%



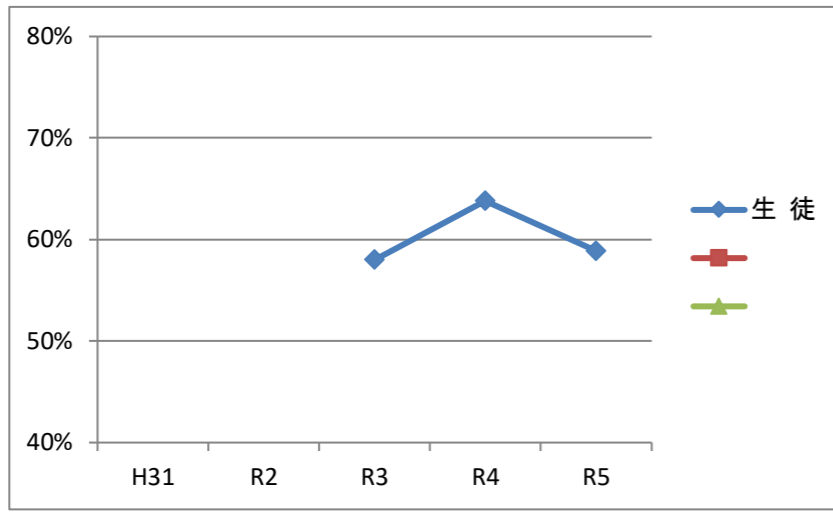
項目18
総務部
13. 生徒 先生は生徒の健康状態に気を配っている。
13. 保護者 先生は子どもの健康(食事・運動・睡眠等の体調)を気づかってくれる。
13. 教職員 生徒の健康状態について把握できている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	51.3%	55.4%	60.2%	65.4%	65.5%
保護者	56.9%	66.0%	60.6%	59.6%	59.1%
教職員			62.8%	70.3%	63.1%



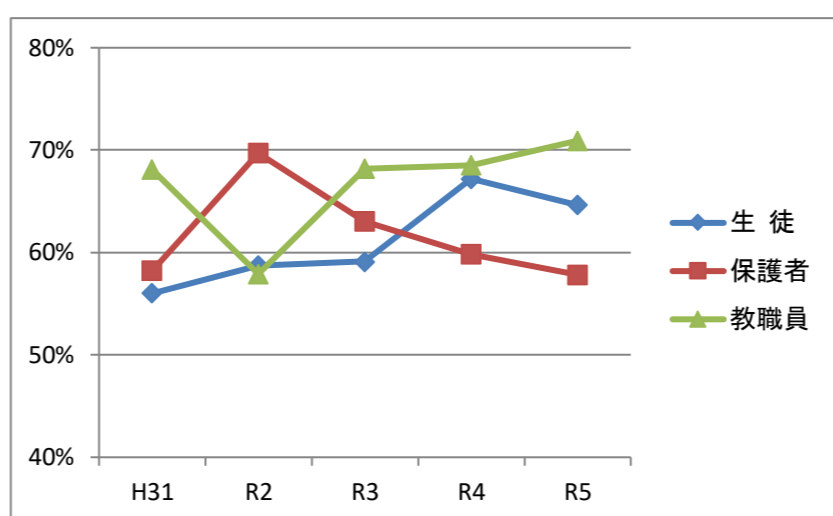
項目19
教育相談
14. 生徒 学校では、安心して生活ができる。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒			58.0%	63.8%	58.9%
保護者					
教職員					



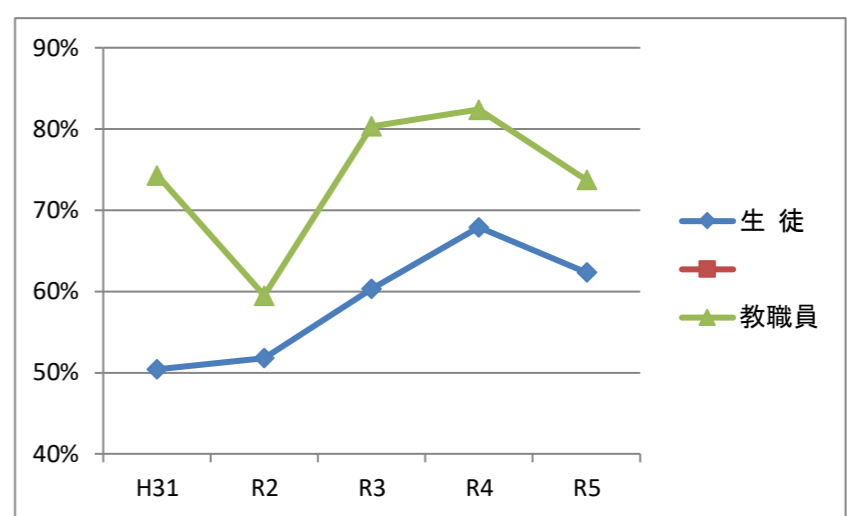
項目20
教育相談
15. 生徒 いじめ等について困っていることがあれば、先生は寄り添って対応してくれる。
14. 保護者 学校はいじめ等について、子どもが困っていることに寄り添って対応してくれる。
14. 教職員 いじめ等(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	56.0%	58.7%	59.1%	67.2%	64.6%
保護者	58.2%	69.7%	63.0%	59.8%	57.8%
教職員	68.1%	57.9%	68.2%	68.5%	70.9%



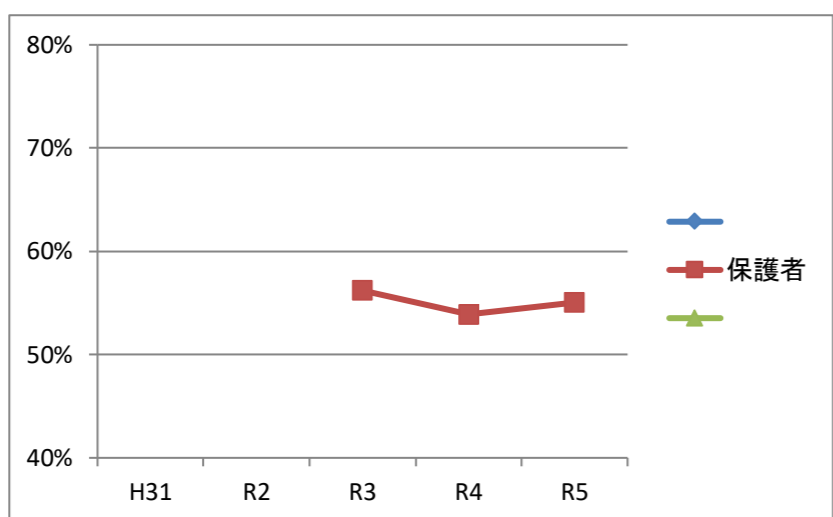
項目21
教育相談
16. 生徒 担任の先生以外にも、気軽に相談できる先生がいる。
15. 教職員 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	50.4%	51.8%	60.3%	67.9%	62.3%
保護者					
教職員	74.3%	59.5%	80.3%	82.4%	73.8%



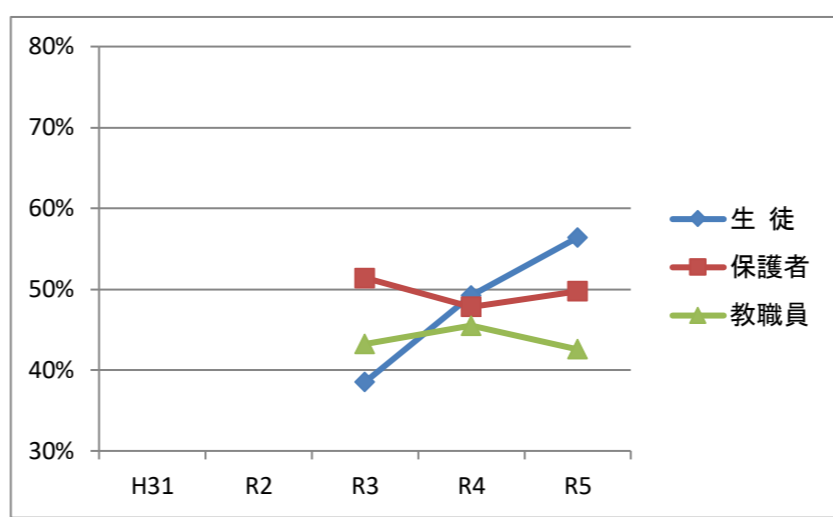
項目22
総務部(PTA)
15. 保護者 この学校の授業参観や学校行事に、関心がある。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
保護者			56.2%	53.9%	55.1%
生徒					
教職員					



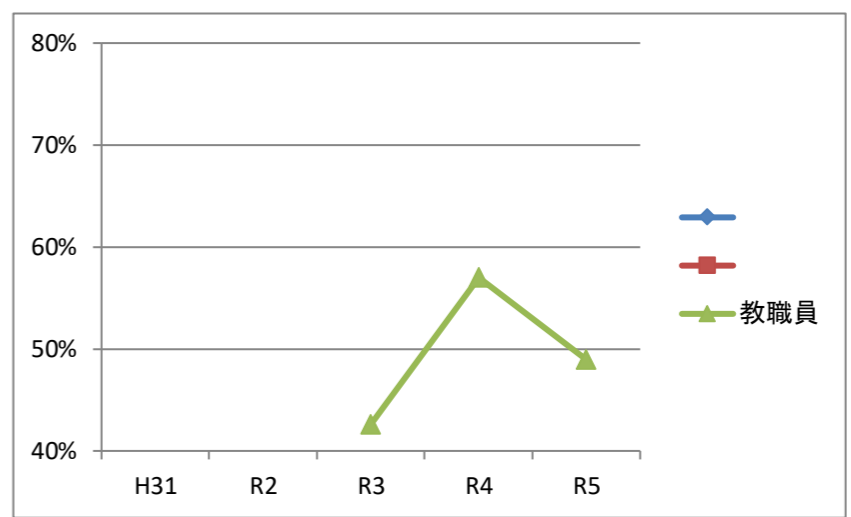
項目23
ICT
17. 生徒 学校で配付されたクロームブックを授業などで活用している。
16. 保護者 家庭において、携帯電話やクロームブック使用に関するルールを話し合っている。
16. 教職員 学校で配付されたクロームブックを授業などで活用する機会を作っている。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒			38.5%	49.2%	56.4%
保護者			51.4%	47.8%	49.7%
教職員			43.2%	45.5%	42.6%



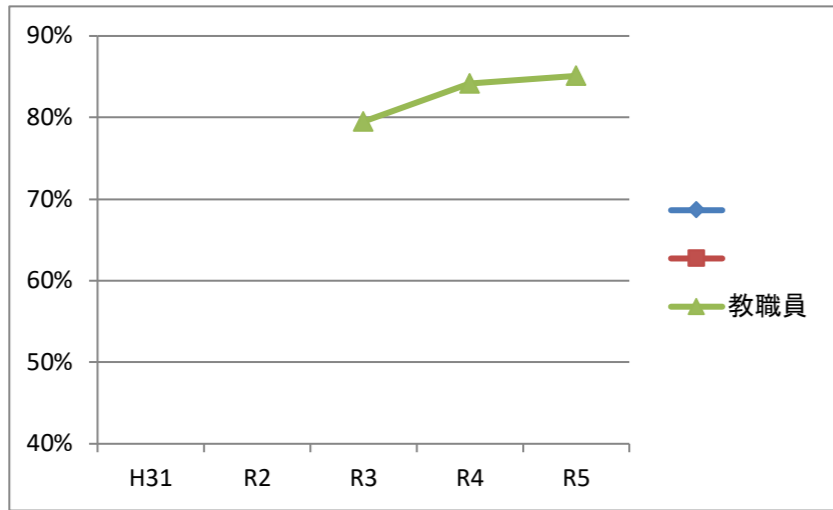
項目24
ICT
17. 教職員 この学校は、情報リテラシーや情報モラルを高める教育に取り組んでいる。

年度	H31	R2	R3	R4	R5
教職員			42.6%	57.0%	48.9%
生徒					
保護者					



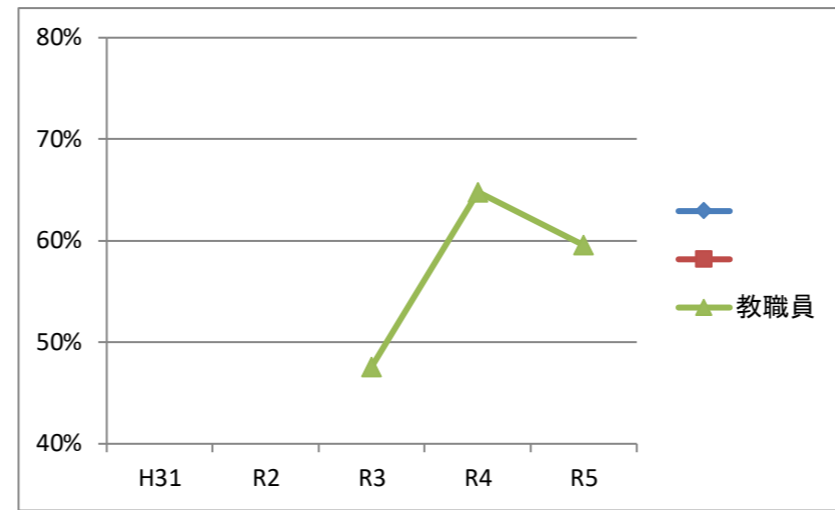
項目25				
全体・服務	18. 教職員 生徒の個人情報を適切に管理している。				

年度	H31	R2	R3	R4	R5
教職員			79.5%	84.2%	85.1%



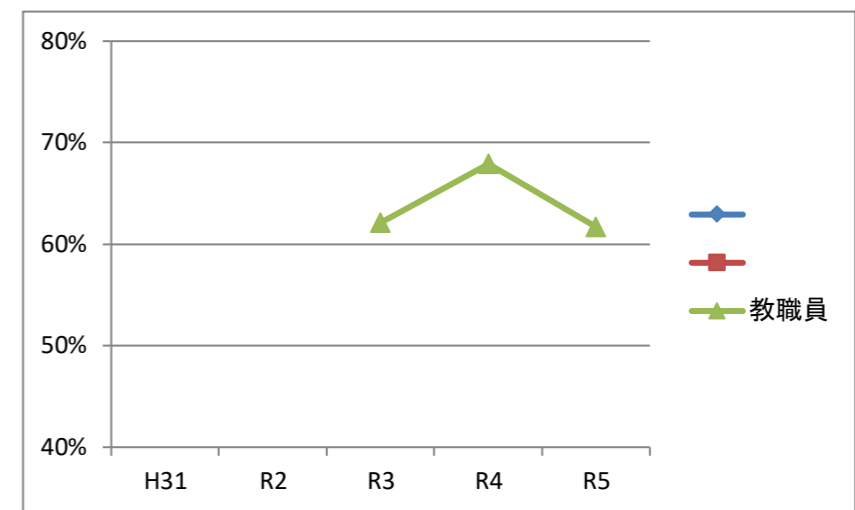
項目26				
全体・服務	19. 教職員 学校から保護者あてに発行する文書について、決裁するシステムが生かされている。				

年度	H31	R2	R3	R4	R5
教職員			47.6%	64.8%	59.6%



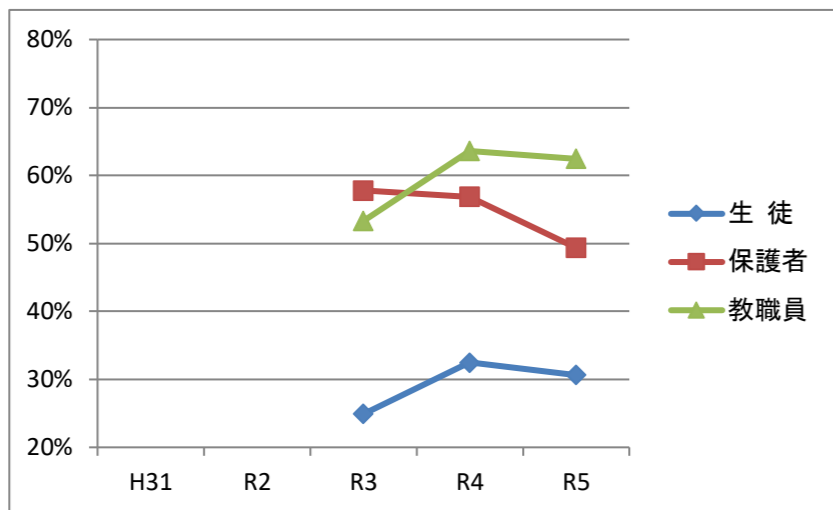
項目27				
地域連携	20. 教職員 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。				

年度	H31	R2	R3	R4	R5
教職員			62.1%	67.9%	61.7%



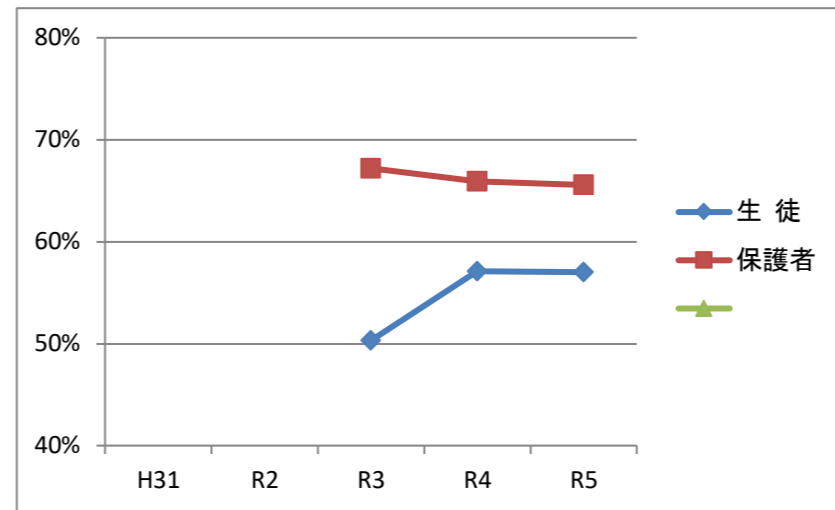
項目28				
全体	18. 生徒 学校のHPを見ることが多い。 17. 保護者 学校のHPは、いろいろな情報がわかりやすい。 21. 教職員 情報提供の手段として、学校のHPが組織的に活用されている。				

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒			24.9%	32.5%	30.6%
保護者			57.8%	56.9%	49.4%
教職員			53.3%	63.6%	62.4%



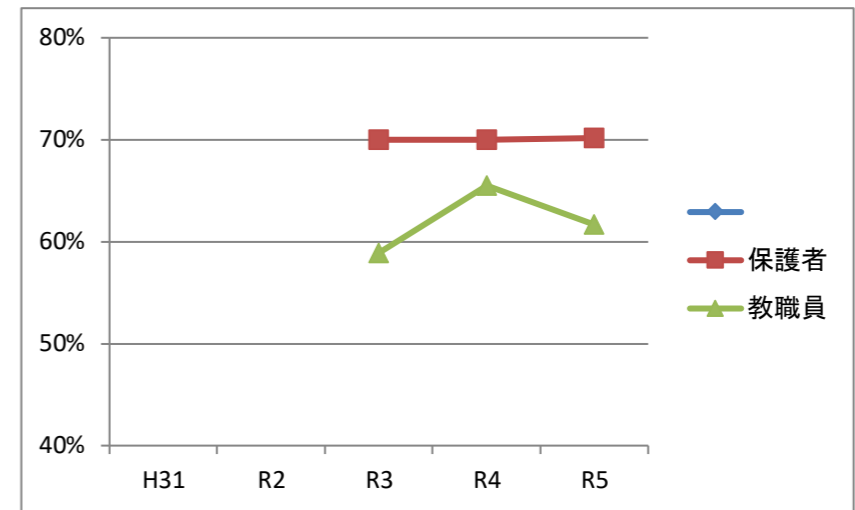
項目29				
全体	19. 生徒 家の人などに、学校のことについてよく話す。 18. 保護者 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は、適切である。				

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒			50.3%	57.1%	57.0%
保護者			67.2%	65.9%	65.6%



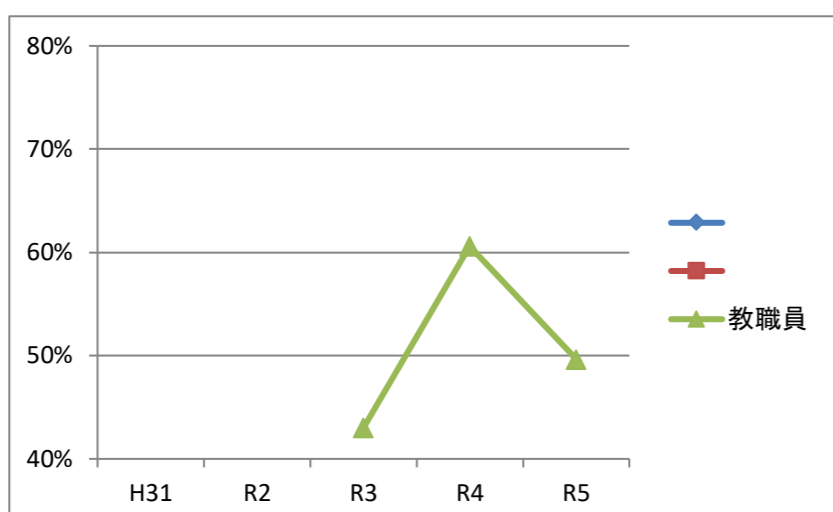
項目30				
全体	19. 保護者 学校は保護者の相談に適切に対応してくれる。 22. 教職員 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の要望等に応えている。				

年度	H31	R2	R3	R4	R5
保護者			70.0%	70.0%	70.2%
教職員			58.9%	65.5%	61.7%



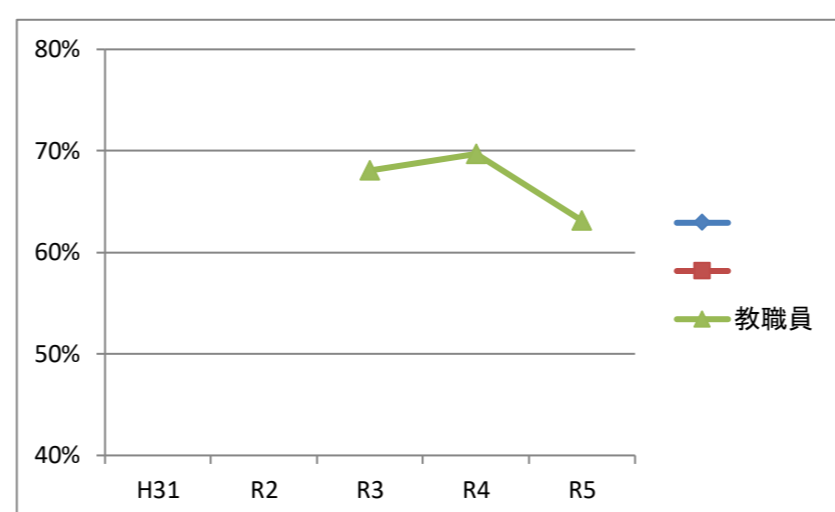
項目31				
全体	23. 教職員 各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。				

年度	H31	R2	R3	R4	R5
教職員			43.0%	60.6%	49.6%



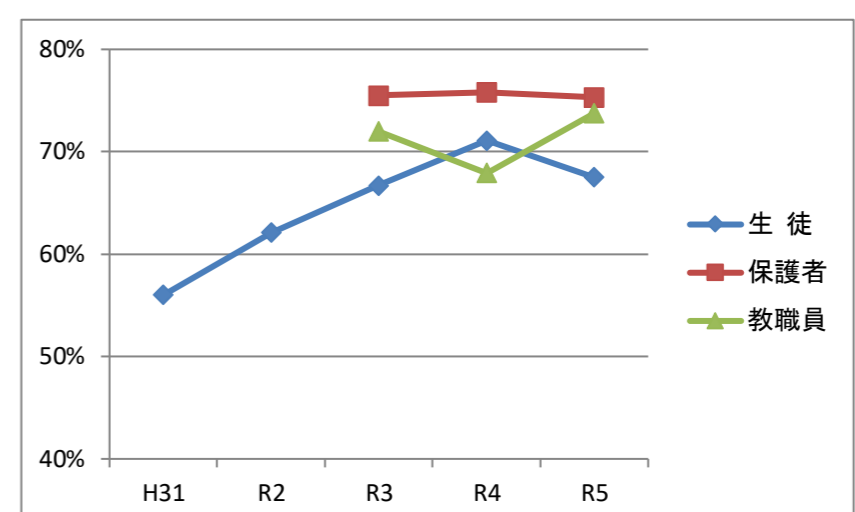
項目32				
全体	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができている。				

年度	H31	R2	R3	R4	R5
教職員			68.1%	69.7%	63.1%



項目33				
全体	20. 生徒 エンバワメントスクールに入学してよかった。 20. 保護者 エンバワメントスクールに入学させてよかった。 25. 教職員 エンバワメントスクールの趣旨を理解している。				

年度	H31	R2	R3	R4	R5
生徒	56.0%	62.1%	66.7%	71.1%	67.5%
保護者			75.5%	75.8%	75.3%
教職員			72.0%	67.9%	73.8%



2. 令和5年度 学校教育自己診断 分析及び考察

項目1、14、33について【学校の満足度】

「1. 学校に行くことが楽しいか」について、【生徒】59.8% (R4: 64.9%)、【教職員】51.1% (R4: 55.2%)と生徒・教職員ともに評価は下がっている。(保護者は横這い)
「14. 学校行事は楽しい」については、【生徒】67.2% (R4: 74.9%)、【教職員】63.8% (R4: 67.9%)と生徒・教職員ともに評価が下がっている。
「33. エンパワメントスクールに入学してよかった」については、【生徒】67.5% (R4: 71.1%)、【教職員】73.8% (R4: 67.9%)と生徒・教職員の評価が分かれている。
昨年度、コロナ明けで学校行事等が再開されたことで生徒・教職員の評価は上がっていたが、今年度は減少傾向となっている。ただ、行事になると出席率は上がり、生徒は積極的に参加している様子である。実習科目や行事等、生徒が満足できるような内容に、ブラッシュアップを進めていかなければならない。

項目3について【3. 分かる授業】

生徒の肯定が58.8% (R4: 62.8%)に対し、教員が80.9% (R4: 73.3%)となり、評価が乖離している状態。
早急に教員の意識を変え、授業改善を行わなければ、生徒の授業満足度は向上していかない。

項目5について【生徒は努力をほめてもらえている】

「5. 生徒が努力したことをほめてくれる」について、【生徒】68.3% (R4: 67.3%)、【保護者】72.7% (R4: 74.1%)となり、生徒・保護者の肯定的な意見が増えてきており、生徒が努力したことを教員がしっかり褒めていることがわかる。教職員による個々の生徒に寄り添った対応が評価されてきている。

項目13について【生徒指導】

「13. 先生の指導については納得できる」について、【生徒】63.2% (R4: 63.3%)、【教職員】56.0% (R4: 62.3%)と教職員の評価が下がっている。
生徒に寄り添った生徒指導に変化してきていることで、生徒も本校の生徒指導の在り方に一定の理解が進んでいる。
一方で、教員は現在の生徒指導の方法に自信を持っていないのかもしれない。

項目16について【学外活動について】

「16. 学校外でのボランティア等の活動」について、【生徒】40.9% (R4: 43.3%)、【教職員】72.3% (R4: 66.1%)と教職員の評価が下がっている。
学校外のボランティア活動や体験活動等について、教員側は外部との調整に時間をかけて準備等を行っているのだが、生徒の参加がそれに伴っていないことが数値として現れている。しかし、継続してきた韓国とのオンライン交流が現地での海外研修に発展したり、お掃除ボランティアの単位認定に向けた検討を開始するなど、これまでの活動をさらに広げていく工夫をし、参加生徒を増やしていくPR活動等も併せて行っていく必要がある。

項目28について【HPの活用】

本校のHPやブログを積極的に更新し、情報発信は行っている。しかしHPは自分から見に行くためのプラットフォームなので、中学生向けの発信という傾向が強い。
生徒に対する情報発信について、SNS等の活用も視野に入れていく必要がある。